

## 1. 評価結果概要表

作成日 2009年1月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0871600128		
法人名	社会福祉法人尚生会		
事業所名	認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス		
所在地	茨城県笠間市福田3199 (電話)0296-72-8138		

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所		
所在地	茨城県取手市井野台4-9-3 D101		
訪問調査日	平成20年11月18日	評価確定日	平成21年2月20日

## 【情報提供票より】(平成20年10月15日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算	7.6人

## (2)建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	有( ) 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	2 名	要介護2	2 名			
要介護3	3 名	要介護4	2 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	84.7 歳	最低	74 歳	最高	89 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団誠芳会 石本病院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム周辺は自然豊かな緑に囲まれた、広々とした景色を眺められる場所に位置している。周りに見える山々が四季折々の景色を楽しませてくれ、ぬくもりのある環境の中で生き生きと生活されているように思えた。ホームの隣には同法人が経営する施設があり機能的に相互連携が図られる。地域に広く周知され、地域貢献・地域に密着した環境づくりを行っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の結果は、全職員目を通し共有している。今後取り組んでいきたい課題について運営推進会議などで話し合いの機会を設け意見をもらい、ケアの向上に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対して計画担当者を中心に、評価の意義を唱え理解し話し合いを行い、職員全体で取り組んだ。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の課題に外部評価の結果を挙げ、具体的な日々のケアの向上のための素材として用いている。運営推進会議は隔月で行われ議事録も丁寧に記録・保管されている。会議内容は計画的長期的な視点に基づいている。市町村との連携も意欲的に行っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	近況報告、金銭管理等の報告を定期的に電話、面会時などで口頭にて家族に報告がなされている。気兼ねなく意見や要望を言ってもらえるよう配慮をしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣の幼稚園・小学校から招待され運動会や行事に参加している。地域の祭りや季節に合わせた行事も行われ、中でもホーム主催の打ち上げ花火が地域住民にも楽しまれ、盛大なイベントの一環として行われる。地域貢献事業としてヘルパー養成事業なども行っている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	”あなたがあなたらしく、安心して穏やかに過ごせるよう支援します。”などの理念を面会者や来訪者の誰にでも目につくように、玄関内に理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	掲示したり、会議の際に理念を話して意識づけするようにしている。事業計画書を各職員が持っていて日々のケアに反映出来るように努力している。特に新入職員には重ねて活かしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の幼稚園・小学校の運動会に招待され利用者と一緒に参加したり、地域の菊まつり・芋煮会や敬老会・クリスマス会など季節に合わせた行事に参加している。法人内の行事として打ち上げ花火を警察・消防の協力体制の下、イベントとして設け、近隣の方が大勢参加される。地域貢献事業として、併設されている特養と一緒に市民・高校生に向けて、ヘルパー養成2・3級の事業、中学生ボランティアの受け入れも行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義を十分理解し、話し合いケアに取り組んでいる。自己評価については、職員会議で出した意見や希望など全体で話し合い相談員がまとめている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催される運営推進会議では近隣住人の民生委員の方や市の福祉課の方、利用者家族の代表者が参加し、災害対策や看取りについての方針などの具体的な話し合いをしている。外部評価についても話し合われている。		

茨城県 認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の包括支援センターとの連携もとりやすく、直接訪問により市外居住者への対応についてなどのアドバイスや相談ももらっている。介護サービス事業者懇談会への参加も積極的にしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年3回法人情報誌『グリーン情報』を発行し、利用者の様子や行事の報告など掲載し、家族に送付している。毎月の料金請求時には利用者の状態報告と一緒に出納書のコピーを送付している。買い物のレシート・明細はいつでも確認できるように個別にまとめて保管している。緊急時の連絡等の記録はケース記録に残している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や要望は面会時や家族会等の場を用いて話し合い、クレームやヒヤリハットについてはそのつど迅速に対応し日々のケアに反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動については法人全体で考えている。異動により、利用者へのダメージが生じやすいことを理解しているため職員が急に異動することがないようにダブりの期間を設け、混乱の軽減に努めている。利用者・職員共に異動の際は送別会を行う工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員研修計画を作成、それを基に年2回法人内研修を実施。外部研修も勤務実践に応じた研修を受講することができる。受講希望があるときには随時相談できる。研修は出張扱いになり、研修後は伝達講習、会議のあとに勉強会も設けている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内で年2回開催される協働訪問事業で他の施設に研修に参加し、相互交流に努め情報交換を行っている。職員同士での交流もできている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	日帰り体験の実施(昼食代は実費)場合によっては泊まりを実施する体制が出来ている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護の対象者としての生活支援ではなく一緒に生活をする者として支え合う関係作りが出来ている。野菜の切り方や料理のことなど利用者から教わることも多い。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの意向を大切に寄り添う介護に努めている。外出希望なども含めて意向を重視している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の日々の記録は計画に沿って記録され、計画にも反映されている。思いや意向も反映された計画ができています。居室担当者が提案したり、意見を出したりした後、計画担当者が立案し、それに対して職員の意見が言えるようになっており、意見の反映もされている。		職員と計画担当者がよく話し合っって目標の整理を検討することが必要かと思われる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のサービス担当者会議でも話し合い、評価が完成したあと全職員に浸透できるよう回覧でまわし目を通すようにしている。担当者の評価・計画担当者の評価と書式を定めて実施されているので、わかりやすい。		

茨城県 認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助が出来るので、送迎途中に公園に寄ったりと、その日の天気に合わせて計画ができる。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の定期受診、また協力医院なので夜間や緊急時の受診も受け入れてもらえるよう、連携を図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	去年の外部調査以降、運営推進会議にて重度化についての方針や対応について話し合いが行われた。現状のホームで対応できる範囲として、認知度が上がりホーム内での事故報告書・退院後の回復状況・転倒が頻回になった場合などの日々の生活の様子を検討・説明をし、伺いながら次のステップに対応できるよう各家族と話し合いを進めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関しては事務所内に保管している。また利用者一人ひとりの尊厳も大事にし配慮されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まりごとなどを特別には作らず、一人ひとりの希望に添った一人ひとりのペースを大切に考えた生活を支えるように支援している。		

茨城県 認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望に添った献立を考えたり、食材の買出しのときに利用者と相談しながらメニューを決めたりすることもある。食事中は落ち着きのある、利用者がなじめるようなBGMを流すなど工夫されている。外食も1ヶ月に2回以上定期的に取り入れ楽しみを提供している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助の都合もあり2日に1回の入浴を提供しているが、そのほかに希望があれば連日入浴も出来る。入浴時間は夕方～夕食前を目安にし、シャワーの利用はいつでも出来る。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や洗濯物たたみなど、利用者に来ることを声かけをしながら一緒にするようにしている。利用者個人の趣味や好きなこと、得意なことを活かしながら習字・絵葉書・ぞうり作り・機織など楽しみの支援も十分に行われている。敷地内に菜園を設けていて野菜作りも行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の健康状態を第一に考え、1日に1回は施設外周の散歩や敷地内に設けられている畑の様子を見に行ったりと、外の空気に触れられるように促している。利用者と一緒に食材の買出しに行ったりと長い間外出していないことのないように意識できるよう工夫をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、いつでも自由に出入りできる。夜間は防犯上の施錠をしている。近隣の方々にも協力が得られており、消防署・警察署にも協力依頼をし連携を築いている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に1回避難訓練を行い夜間想定、消防・地域住人の方の協力も得て訓練を行われている。防災については運営推進会議を通して地域住人と細かく話し合われているので、キチンと連携が図れている。備蓄の準備もきちんとされている。またボランティアで震災被災地を訪れその経験を参考に災害時の対策も検討している。	○	自然災害時の地域の避難場所の確認をしておくことが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日のカロリーを1500～1600を目安にし、バランスを考え利用者の状態に合わせた食事を提供している。水分摂取の不足しがちな人には、スタッフが声かけをし促すよう努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に添った花を飾ったり、利用者とともに作った切り絵などで落ち着いた雰囲気作りをした空間作りをしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望や家族の意向に添った、個性的なその人らしい居室作りがされている。		